

事例1

タブレット型の室内環境測定器の導入により報告書作成までの時間と作業負担を軽減

企業概要

【所在地】福島県 【従業員数】39人 【事業内容】ビルメンテナンス業

課題と対応

現地にて室内環境を測定した後、会社に戻って報告書作成をする必要があったため、業務効率化を検討した。

実施概要

会社に戻って測定結果の取り込みや報告書の作成を行ったり顧客の下に再度訪問したりすることなく、測定した現地で結果表示や報告書作成を行い顧客への報告書提出までしたいと考えた。そこで、助成金を活用して、タブレット型の室内環境測定器を導入した。

室内環境を測定する現地で作業を完結させたい(社長)



<導入前>



<導入後>



移動や作業の時間が最大で50%短縮

さらなる工夫

ビル清掃等に用いる資材や洗剤について、低コストのものを選定するようにしている。

実施結果

タブレット型の室内環境測定器の導入により、会社に戻って測定データを取り出したり報告書を作成したりする必要がなくなった。また、測定時の不具合による再測定にもすぐ対応でき、再測定のための時間のロスも無くなった。さらに、機器も小型軽量化したため、搬入・設置等の作業負担が減った。

成果

室内環境測定の効率化により生産性が向上し、4人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を平均38円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引き上げを実施した。

助成金活用のきっかけ

社会保険労務士の提案

事例2

配膳ロボットの導入により料理の運搬業務の効率化

企業概要

【所在地】埼玉県 【従業員数】11人 【事業内容】飲食業

課題と対応

アルバイトの急な欠勤があったり、奥行きのある動線を一度に2食(両手)分の配膳しかできなかったりするため、特に繁忙期においてより多くの配膳ができないか検討した。

実施概要

常時3食以上の配膳や重い料理や食器を運ぶ業務を、従業員の負担を増やすことなく可能にしたいと考えた。そこで、助成金を活用して、**配膳ロボットを導入した。**

繁忙期の配膳業務を平準化したい(社長)



<導入前>



<導入後>



さらなる工夫

セルフオーダーシステムや自動洗米・炊飯・飯盛機を導入している。

配膳効率が25%向上し、配膳に係る人員が5人から4人に縮減

実施結果

配膳ロボットの導入により、5人が必要だった配膳業務が4人でできるようになった。また、その分、顧客に目が行き届くようになり、顧客からより良い評価が得られるようになった。

成果

配膳業務の効率化により生産性が向上し、9人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を60円引き上げた。

助成金活用のきっかけ

中小企業診断士の提案

業務改善

事例3

新型溶接機の導入により、重量負担が減り短時間で誰でも高品質の作業が可能になり、溶接業務が効率化

企業概要

【所在地】千葉県 【従業員数】77人 【事業内容】自動車整備業

課題と対応

自動車の鋼板の溶接の際、時間がかかる、連続作業ができない、重い、作業により質に差が出るなどの課題があったため、そうした課題の解消を検討した。

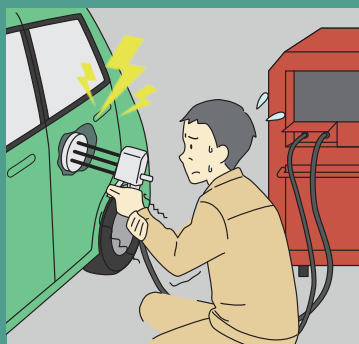
実施概要

加熱のためのアイドルタイム、鋼板の種類により電流・加圧・通電時間の調整、手元への重量感、作業による質の違い、特殊鋼の場合の外注などをなくしたいと考えた。そこで、助成金を活用して、自動車鋼板用特殊溶接機を導入した。

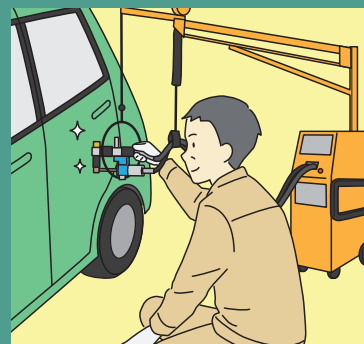
溶接作業の負担を軽減し、誰でも高品質に仕上げられるようにしたい(社長)



<導入前>



<導入後>



溶接作業時間が35%短縮し、作業品質が向上

さらなる工夫

特定技能「自動車整備」分野の在留資格で外国人材を受け入れ、よりきめ細やかな作業分担を行い、作業効率を高めている。

実施結果

新型溶接機の導入により、重い機器を持つことなく、作業者の経験にかかわらず高品質の作業が可能になり、溶接時間は35%短縮した。

成果

溶接作業の効率化により生産性が向上し、1人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を125円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引き上げを実施した。

助成金活用のきっかけ

セミナーにて知った

業務改善

事例4

3S（整理・整頓・清掃）研修とコミュニケーションセミナーの受講により、書類管理と意思疎通が向上

企業概要

【所在地】東京都 【従業員数】5人 【事業内容】国際交流事業

課題と対応

職場内で使用する書類が多く、管理や探索に時間を要していた。また、コロナ禍で職員間の直接的なコミュニケーションが減少していたため、研修やセミナーでそうした課題の解消を検討した。

実施概要

書類の紛失や探索時間を減らすとともに、コミュニケーションを活性化したいと考えた。そこで、助成金を活用して、3S研修とコミュニケーションセミナーを職員へ受講させた。

書類管理の効率化と職場内のコミュニケーション強化をしたい（専務理事）



<導入前>



<導入後>



さらなる工夫

職業訓練性や派遣先との打ち合わせをWeb会議で行うことが増え、移動時間を削減している。

書類の紛失や探索時間が減少し、意思疎通が円滑化

実施結果

3S研修受講により、作成書類の記入ミスや提出書類の期限切れなどが減少した。また、コミュニケーションセミナー受講により、部門間の意思疎通が円滑化し、モチベーションや業務効率が向上した。

成果

3S研修とコミュニケーションセミナーの受講により生産性が向上し、2人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を60円引き上げた。

助成金活用のきっかけ

コンサルタントの提案

事例5

ロジカルシンキング（論理的思考法）研修の受講により、
職員の課題解決力の養成

企業概要

【所在地】岐阜県 【従業員数】73人 【事業内容】弁当製造業

課題と対応

栄養士や調理士等の専門職及び補助職が主体で、業務上の課題を見出して会議で課題解決を導くような人材がいなかったため、研修による人材育成を検討した。

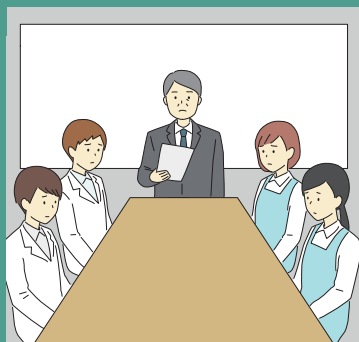
実施概要

職場内での問題点や課題を見出し、問題解決に向けて道筋を立てて方策を検討したり、その必要性を会議等の場で職員に伝えて行動に移す能力を身に付けさせたいと考えた。そこで、助成金を活用して、職員へロジカルシンキング研修を受講させた。

職員の課題発見・問題解決力の強化をしたい（専務理事）



<導入前>



問題解決に向けて論理的に考え、話し合い、
行動に移そうとする思考力を養成

<導入後>



さらなる工夫

施設内の消費電力量をモニタリングし、最大需要電力の抑制や総消費電力の削減をしている。

実施結果

ロジカルシンキング研修の受講により、さまざまな問題点や課題を自ら発見し解決に向けて論理的に解決する思考が身に付き、チームで取り組む姿勢が生まれた。

成果

ロジカルシンキング研修の受講により生産性が向上し、4人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を28円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引き上げを実施した。

助成金活用のきっかけ

インターネットで、活用可能な助成金を検索

業務改善

事例6

軽貨物自動車・工事用電動工具・工具用バッテリーの自社保有により、リースのための時間が減って作業量が増え建設作業が効率化

企業概要

【所在地】愛知県 【従業員数】8人 【事業内容】建設業

課題と対応

業務用車両や工事用工具が必要な際には、リース先へ借りにいかなければならなかった上、リースする工具は、燃料補充や冷却に時間がかかっていた。そのため、それらを自社保有することによる業務効率化を検討した。

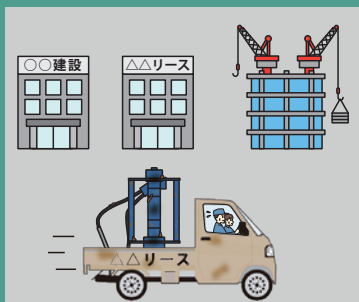
実施概要

業務用車両の借受や返却のための時間を無くし、工事用工具の稼働時間を長くして作業量を増やし、残業時間を減らして基本給を引き上げたいと考えた。そこで、助成金を活用して、軽貨物自動車と工事用電動工具、工具用バッテリー2基を導入した。

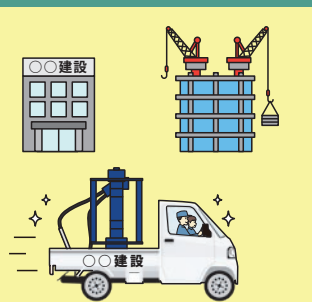
削減可能な残業時間を減らし、基本給を引き上げたい(会長)



<導入前>



<導入後>



さらなる工夫

工具の消耗品や付属品を自社内に常備するようにし、リース店やホームセンターに立ち寄る必要をなくしている。

作業時間が最大50%短縮し、ガソリン代も削減

実施結果

軽貨物自動車と工事用電動工具、工具用バッテリーの導入により、リース品の受け渡しや性能向上によりアイドル時間がなくなって作業時間が最大50%削減し、1日の作業量が倍増した。また、車両の走行距離が削減され、移動時間と燃料代が削減された。

成果

建設作業の効率化により生産性が向上し、1人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を107円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の上げを実施した。

助成金活用のきっかけ

インターネットで、助成金紹介動画を見て

事例7

リフト付き福祉車両、乾燥機能付き洗濯機、大容量冷蔵庫の導入により、車椅子利用者の送迎、買い出し、洗濯物乾燥が効率化

企業概要

【所在地】滋賀県 【従業員数】10人 【事業内容】障害者福祉事業

課題と対応

車椅子利用者の送迎時には2名で行き介助はすべて人力で行わなければならなかった。また、洗濯機には乾燥機能が無いため干したり取り込んだりする手間と時間がかかり、冷蔵庫は容量が小さいため毎日買い出しに行く必要があった。そのため、車両や機器の導入による業務効率化を検討した。

実施概要

送迎時の介助、洗濯物干しや取り込み、買い出しの負担を軽減したいと考えた。そこで、助成金を活用して、リフト付き福祉車両、乾燥機能付き洗濯機、大容量冷蔵庫を導入した。

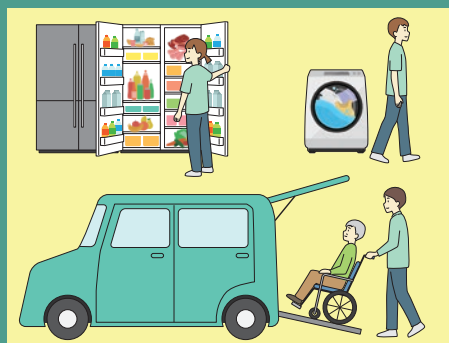
送迎、洗濯、買い出しの負担を軽減したい（役員）



<導入前>



<導入後>



車椅子利用者の送迎時間及び買い出し回数が半減、洗濯物干し及び取り込み時間が削減

実施結果

リフト付き福祉車両、乾燥機能付き洗濯機、大容量冷蔵庫の導入により、車椅子利用者の送迎時間及び買い出し回数が半減し、洗濯物干し及び取り込み時間がなくなった。

成果

車椅子利用者の送迎、買い出し、洗濯物乾燥の効率化により生産性が向上し、5人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を90円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引き上げを実施した。

助成金活用のきっかけ

社会保険労務士の提案

事例8

二酸化炭素発生装置の導入により、農産物の良品の割合が増え、廃棄作業が効率化

企業概要

【所在地】大阪府 【従業員数】2人 【事業内容】農業

課題と対応

農産物の生産に当たって、商品として出荷できずに廃棄する量が多く、そこまで育てる手間やコストと、廃棄処分場まで運ぶ時間が無駄になっていた。そのため、設備投資による品質向上を検討した。

実施概要

秀品率（全体収量の中で良品が占める割合）を上げ、収量をアップさせるとともに、廃棄処分場までの運搬回数を減らしたいと考えた。そこで、**助成金を活用して、二酸化炭素発生装置を導入した。**

作物の品質を向上させて廃棄処分量を減らしたい（代表）



<導入前>



<導入後>



秀品率が向上し、廃棄処分回数が半減

実施結果

二酸化炭素発生装置の導入により、秀品率が上がって廃棄処分回数が半減し、売上高も拡大した。

成果

秀品率の向上により生産性が向上し、5人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を90円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のきっかけ

税理士の提案

事例9

自動洗浄機能付き歯科ユニット（診療台）の導入により、洗浄作業が効率化して診療者数が増加

企業概要

【所在地】兵庫県 【従業員数】29人 【事業内容】医療業

課題と対応

既存の歯科ユニットでは、治療が終わる度にスタッフが手作業で洗浄を行う必要があり、前の患者の診療が終わっても次の患者をすぐに受け入れることができなかった。そのため、設備投資による業務効率化を検討した。

実施概要

治療が終わった後、洗浄が自動で行われ、スタッフは並行的に次の治療器具の用意などができるようにしたいと考えた。そこで、助成金を活用して、自動洗浄機能付き歯科ユニットを導入した。

ユニットが自動洗浄されるようにし、多くの患者を受け入れられるようにしたい（事務長）



<導入前>



<導入後>



さらなる工夫

さまざまな使用薬剤等の価格を洗い出し、同等の品質で安価な商品に切り替えている。

次の患者の受け入れ時間が15分短縮し、
1日当たりの診療者数が6人増加

実施結果

自動洗浄機能付き歯科ユニットの導入により、手作業の洗浄作業が無くなって次の患者を早く受け入れられるようになり、1日当たりの診療者数が6人増加した。

成果

ユニット洗浄の効率化により生産性が向上し、1人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を146円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のきっかけ

厚生労働省のホームページにて知った

事例10

POSレジシステムと半自動立体包装機の導入により、会計処理と商品包装が効率化

企業概要

【所在地】和歌山県 【従業員数】5人 【事業内容】クリーニング業

課題と対応

レジシステムが旧型で操作性が悪く、混雑時にはレジ待ちが発生していた。また、商品の包装に手間がかかり、時間を要していた。そのため、システムと機器の導入による業務効率化を検討した。

実施概要

レジ操作を短時間で行い、商品の包装の際には手作業を減らしたいと考えた。そこで、助成金を活用して、POSレジシステムと半自動立体包装機を導入した。

会計処理を簡便化し、商品包装の手間も減らしたい（社長）



<導入前>



<導入後>



会計処理は約1.5倍、立体包装は約3倍の速さで可能に

実施結果

POSレジシステムの導入により、混雑時のレジ待ちがなくなり、半自動立体包装機の導入により処理数が増加し包装もきれいになった。

成果

会計処理や商品包装の効率化により生産性が向上し、3人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を90円引き上げた。

助成金活用のきっかけ

厚生労働省のホームページにて知った

業務改善

事例11

新型のマイクロバスの導入により、メンテナンスやガソリンにかかる費用が低減

企業概要

【所在地】鳥取県 【従業員数】35人 【事業内容】宿泊業

課題と対応

既存の送迎バスは、顧客の乗り心地が悪く、不具合対応や部品交換等の修理代や車両の手間もかかっていたため、新型車両への更新を検討した。

実施概要

送迎客の乗り心地を改善し、修理の回数や費用を減らしたいと考えた。そこで、助成金を活用して、新型のマイクロバスを導入した。

送迎バスの乗り心地を改善し、修理も減らしたい(社長)



<導入前>



<導入後>



さらなる工夫

省エネ型の空調設備に更新したり、照明機器をLED化したりして、電力消費を抑制している。

乗り心地が改善、修理代や燃料代が削減

実施結果

新型のマイクロバスの導入により、送迎客の乗り心地が改善し、修理の必要性が減って燃費も向上し、修理やガソリンの費用が削減された。

成果

修理費の削減や燃費の改善により生産性が向上し、12人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を90円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のきっかけ

県庁・市役所等にて知った

事例12

フォークリフトと重量選別機の導入により、運搬と選別の効率化

企業概要

【所在地】香川県 【従業員数】4人 【事業内容】牡蠣養殖加工販売業

課題と対応

牡蠣の運搬や選別を人手で行っていたため、運搬は重くて回数も多く負担となっており、選別は時間がかかり重さや仕分けのミスが発生していた。そのため、機器導入による業務効率化を検討した。

実施概要

運搬の負担を減らし、選別を早く正確に行いたいと考えた。そこで、**助成金を活用して、フォークリフトと重量選別機を導入した。**

運搬と選別の負担を減らしたい(社長)



<導入前>



<導入後>



さらなる工夫

道具類は、できるだけ修繕して使って買い替えを抑制し、また置き場を決めて探す時間をの無駄をなくすようにしている。

運搬時間が約1/50、重量選別がグラム単位で早く正確に

実施結果

フォークリフトの導入により、台車で何往復もしていた量が1回で運べるようになった。また、重量選別機の導入により人手による大きさの判断ミスや入れ間違いがなくなりグラム単位で間違いのない選別が可能となった。

成果

運搬や選別の効率化により生産性が向上し、4人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を100円引き上げた。

助成金活用のきっかけ

商工会・商工会議所・中小企業団体中央会・業界団体からの紹介

事例13

IC タグ付きの商品管理システムの導入により、貸衣裳の管理や取出しの効率化

企業概要

【所在地】福岡県 【従業員数】33人 【事業内容】貸衣裳業

課題と対応

貸衣裳の管理をすべて手作業で行っており、ベテランスタッフの記憶を頼りに探し出すまで時間がかかっていた上、貸出期間の変更などを正しく把握しておらず混乱することがあった。そのため、システム導入による業務効率化を検討した。

実施概要

衣裳の管理を正確に行い、取り出すまでの時間を短縮したいと考えた。そこで、助成金を活用して、ICタグ付きの商品管理システムを導入した。

貸衣裳の管理と探索を早く正確に行いたい(役員)



<導入前>



<導入後>



さらなる工夫

衣裳の管理以外にも、業務の簡素化や、システム化を進めている。

商品を取り出すまでの時間が1/4以下に短縮され、貸出中の衣裳を探すような無駄がなくなった

実施結果

IC タグ付きの商品管理システムの導入により、20分から1時間以上、時には貸出中で保管されていない商品を探していた作業が、5分程度に短縮した。

成果

商品の効率化により生産性が向上し、19人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を90円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のきっかけ

以前から知っていた

事例14

セルフオーダーシステムの導入により、注文や精算の効率化と注文率の向上

企業概要

【所在地】長崎県 【従業員数】8人 【事業内容】飲食業

課題と対応

飲食物の注文をインターフォンで受け付けて、調理者への伝達や顧客の会計などをすべて手作業で行っており、常に注文を受ける体制を取る必要があり、注文や精算の間違ひも発生していた。そのため、システム導入による業務効率化を検討した。

実施概要

顧客自身で注文してもらって即座に調理者に伝達し、注文や精算の間違ひをなくしたいと考えた。そこで、助成金を活用して、セルフオーダーシステムを導入した。

注文の管理を効率化したい(代表)



<導入前>



<導入後>



さらなる工夫

顧客の好みに合わせ、提供メニューを変更して質も上げ、注文を増加させている。

受付スタッフが室内清掃などに回ることができ、注文率が1割程度上がり、注文・精算ミスが無くなった

実施結果

セルフオーダーシステムの導入により、スタッフが対応することなく顧客自ら注文可能となって注文・精算ミスもなくなり、注文率が1割程度上がった。

成果

注文や精算の効率化により生産性が向上し、3人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を90円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のきっかけ

商工会・商工会議所・中小企業団体中央会・業界団体からの紹介

事例15

増築によるレイアウトの変更により、動線の改善と調理業務の効率化

企業概要

【所在地】鹿児島県 【従業員数】5人 【事業内容】飲食業

課題と対応

顧客が増えるにつれて増改築を繰り返して調理場を拡張してきたため、複雑な間取りとなっており、動線が複雑で調理の効率が悪化していた。そのため、レイアウト工事による業務効率化を検討した。

実施概要

増築した上で動線を改善し、真空冷凍パックの作成に必要な機材を一カ所に集約したいと考えた。そこで、**助成金を活用して、増築と調理器具の再配置を実施した。**

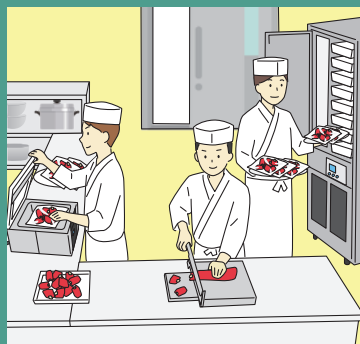
レイアウトを変更して動線を改善したい(店主)



<導入前>



<導入後>



冷凍真空パックの作成時間が半減
動線によっては移動距離が1/10に短縮

さらなる工夫

店舗で提供する米を自家栽培し、不良米を色彩選別機で効率的に除去している。

実施結果

レイアウト変更により冷凍真空パックの作成が2時間から1時間に短縮され、動線によっては移動距離が最大30メートルから3メートルになった。

成果

動線の改善により生産性が向上し、5人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を90円引き上げた。

助成金活用のきっかけ

社会保険労務士の提案

その他の業種別活用事例

事業内容	取組概要
ビジネスホテル	客室廊下への防犯カメラの設置により、入電時における宿泊客の在室確認が不要となったことから電話対応の時間が1日平均10分削減された。また、自転車物置の設置で自転車を客室階に運ぶ介助の回数が半減、月平均1時間削減できた。
エステティック	新型脱毛機器の導入により、連射照射が可能になって従来約2時間を要していた全身脱毛の施術時間が従来の1/3(約40分)程度に短縮され、回転率上昇と客単価アップやより質の高い施術ができるようになった。
美容院	自動釣銭機の導入により、会計時のミスが無くなった上、閉店後に通常30分程度要していた毎日の現金締め処理が約1分で完了するようになった。また、再計算等が必要になることもなくなったことで、時間外労働が削減された。
眼鏡部品加工	自動研磨機の導入により、研磨工程が内製化され、これまで4～5日要していた納期が1～2日に短縮され、1～2日の時間を要していた手直しの時間が1～2時間程度に短縮された。また、生産量が250%～300%増加した。
焼肉店	焼肉弁当の生産量向上のため、従来より大きな石網とこれに対応するロースターを導入し、肉を焼く面積や火力が向上した結果、弁当の生産量が1時間当たり1、2個増加した。また、回転率が上がって売上も10%程度増加した。
介護	車いす搭載車両の増車により、介護職員の送迎時の同乗回数が減った。それにより職員の在館時間が長くなって施設利用者に目が届きやすくなり、転倒リスク等への備えが強化され手厚い介護サービスを提供できるようになった。
縫製	新型ミシンの導入により、メインの縫製ラインの生産性を下げる原因となっていた細々した縫製作業を専用作業場に対応できるようになった。また、ミシンの不具合もなくなり、生産量が1人11%程度向上して稼働率が85%から94%に上昇した。
和菓子製造販売	半自動どら焼きマシンの導入により、どら焼き(100個)の生地製造時間は90分から60分へ、焼成余熱時間は30分から15分へと短縮した。また、IH調理器の導入により、蕎麦団子(700個)の生地製造時間は8時間30分から3時間へと短縮した。
公衆浴場	ボイラー設備の導入により、手作業で行われていた薪などをくべる作業時間が半分程度に減少し、出勤時刻を1時間遅くすることができた。また、浴場での湯温の安定化によって顧客満足度を上げることができた。
食肉製造	真空包装機の導入により、3～4時間かかっていた作業が約1時間30分に短縮された。また、急速冷凍機の導入により、薄型肉の冷凍は3時間から10分に、ブロック肉は6時間から1時間に短縮され、解凍後の品質も向上した。
浄化槽清掃	バキュームカーの増車により、巡回回収を2台体制で行えるようになり、巡回効率が上がった。また、緊急時対応が可能になった上、運転時間の短縮化による腰痛の抑止、顧客対応の向上にもつながった。
ジェラート製造販売	ジェラートの自動製造機2台の増台により、手動で行っていた製造工程が自動化され、生産量が1.3～1.5倍となった。また、その作業にかかっていた人材を他の製造工程に割り当てることができた。

業務改善助成金のその他の助成事例については、厚生労働省のHPに掲載されています。

